人が育ち、知的生産性が向上する 職場革新セミナー

講師紹介（敬称略）

星野　誠（ほしの　まこと）

㈱日本能率協会コンサルティング
R&D組織革新・KI推進センター センター長

技術者や事業スタッフの知的生産性向上と職場活性化を専門としている。
日常業務の課題にふみこみ仕事のやり方を具体的に変えていくコンサルティングを実践している。
製造業の開発設計部門、製造技術部門におけるコンサルティング実績多数。



お申込みについて

定員になり次第、申込受付を終了します。お早目にお申込みください。

1 パソコン（各種検索サイト）からダイレクトで

JMA 職場革新　または
セミナーID（半角数字）JMA 100242　で検索

もしくは、**https://school.jma.or.jp/**

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方は
JMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合わせください。
TEL：03(3434)6271

2 スマートフォン
タブレットから

参加料（消費税抜）

一般社団法人日本能率協会法人会員	93,000円/1名
会　員　外	104,000円/1名

※テキスト（資料）費・昼食費が含まれております。
※本事業開催最終日の消費税率を適用させていただきます。
※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。
https://www.jma.or.jp/membership/
※**参加申込規定**は**JMAマネジメントスクール**のWebページに掲載しておりますのでご確認、同意のうえお申込みください。

キャンセル規定

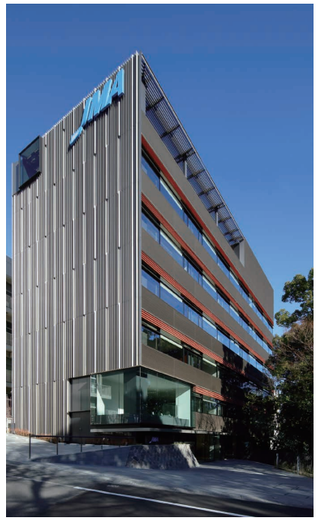
参加者のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。代理の方もご都合がつかない場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますので予めご了承ください。
開催7日前（開催初日を含ます起算）～前々日……参加料の30%
開催前日および当日……参加料全額
（万一キャンセルの場合は必ずメールまたはファックスでご連絡ください。）

会場案内 会場地図は、参加証送付時にご案内いたします。
日本能率協会 研修室（東京都港区芝公園）

申込に関する問い合わせ先（参加証・請求書・キャンセル・変更などに関する内容）
JMAマネジメントスクール　TEL：03(3434)6271
電話受付時間　月～金曜日9:00～17:00　ただし祝日を除く
メール：seminar@jma.or.jp　FAX：03(3434)5505

プログラム内容に関する問い合わせ先（企画担当）
東京　経営・人材革新センター　TEL：03(3434)1955（直通）
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

参加定員 25名（参加人数が最少催行人数に達しない場合は、延期もしくは中止にさせていただく場合がございます。）



これから求められる経営モデルの提唱

KAIKA
未開拓領域を花開かせる

KAIKA Awardsは、全社的な変革運動、経営理念を体現する人づくり、ダイバーシティ経営、新しいチャレンジを進めるプロジェクトなど、人・組織の力を結集する様々な取り組みを対象にした表彰制度です。

会員制度のご案内

一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした法人会員制度を設け、セミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。是非この機会にご入会をご検討ください。
詳細は
https://www.jma.or.jp/membership/

日本の経営革新
×
学びと成長



日本能率協会（JMA）は、企業経営の要である「ひと」の力を最大にすることを通じ、新たな経営・組織づくりに貢献します。
社長・役員向けプログラムのほか、次世代経営者・幹部育成のための長期プログラム、役職別の能力開発研修、人事・教育、マーケティングなど専門領域のスキルアップ研修など年間2,000本以上の公開型研修を開催しています。
また、企業・自治体・学校に向け、個別課題解決支援を行っています。

JMAが選ばれ続ける4つの理由

1 現場課題に合わせたプログラム内容
2 実践力のつく演習・ディスカッション
3 研修結果を継続させる仕組み
4 多様な業界、業種と交流

JMA マネジメントスクール

VQ 2020年度

Renewal

KI（Knowledge Innovation）を活用・実践！

人が育ち、知的生産性が向上する 職場革新セミナー

旧セミナー名：リーダーのためのMMKG職場革新セミナー

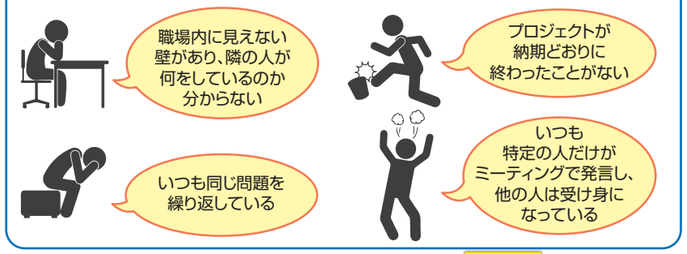
開催日
2020年　7月16日(木)～17日(金)
2020年11月　9日(月)～10日(火)
2021年　1月21日(木)～22日(金)
各回2日間とも 10:00～17:00

会　場
日本能率協会 研修室
（東京都・港区・芝公園）

対　象
- 職場内にカベを感じている等、職場活性化に課題のある方
- R&Dや技術部門の職場活性化を実現したい方
- ホワイトカラーやナレッジワーカーの生産性を向上させたい方
- 組織の知恵を集めて創造する組織をつくりたい方
- KI手法に関心のある方、学び直したい方

KIであなたの職場が変わります！

あなたの職場にもこのような課題はありませんか！？



KIとは
Knowledge Innovation
- 1990年代にJMAグループが開発！20年以上に渡り、200社、2万人以上が導入した手法です！
- 豊富なケーススタディで他社の事例を学びます。チームで知恵を集め、力を合わせて職場を変える方法を習得します！
- 単なる研修で終わらせず、「明日からの日常業務を変えること」を目指します！

本セミナーのねらい

人・組織の成長と業務成果を同時実現するためには、一体感があり、気兼ねなくチームで仕事ができる職場環境を作ることが大切です。
このような職場づくりには、業務に必要とされる知識や情報を、リーダーを含むチームメンバー全員が共有し、個々人の気づきで協働することが求められ、自発的・自律的に動ける創造的な場を築くことが必要です。

本セミナーでは、チームワークを活かし日常業務を明るく、すっきり、スムーズにするKIの手法を用い、“人が育ち、知的生産性が向上する職場”を創出する方法を学んでいただきます。

●ワイガヤ　●見える計画づくり　●合意と納得

と、特徴のある振り返り方法「やったこと、わかったこと、次にやること」により、チームで力を合わせる仕事のやり方への変革をしていき、隠れていたしごとのムリ・ムダ・ムラを見つけて取り除き、一人ひとりが能力を最大限発揮できるイキイキした職場の状態を実現します。

日常の職場単位で地に足の着いた変革に挑戦し、組織全体で知的生産性の向上に取り組みたいリーダー、根本的な組織運営の強化策を学びたい管理職の方に参加をお勧めします。

JMA 経営革新を推進する 一般社団法人日本能率協会

KI（Knowledge Innovation）を活用・実践！

人が育ち、知的生産性が向上する 職場革新セミナー

●プログラム

（昼食 12:00～13:00）

時間	1日目	2日目
10:00	**1 職場の「もやもや」「どろどろ」を洗い出してみよう** ①仕事の会話が弾まない職場 ②個々人の気づきが消え入る職場 ③働く楽しさがない職場 ④能力が発揮できない職場 Case1 「悪魔のサイクルが回り続ける職場」に皆が悩んでいる Training1 「職場の問題の本質にアプローチのしかたを身につける」 **2 職場の壁を壊す** ①職場に行き交う情報と感情の擦れ違いが、見えない「壁」をつくる ②職場の悩みは日常的なこと ③ヨコのつながりが、チームを一体化する **3 壁を壊して生産性を向上させる「KI」** ①見えない「壁」を壊す4つの道具 • ワイガヤミーティング • 見える計画づくり • 「合意と納得」のマネジメント • YWT※による振り返り ②仕事が明るく、すっきり、スムーズになれば、職場は元気になる Case2 「現実を直視することから、職場が変わりはじめる」 Training2 「ワイガヤをリードするやり方を身につける」	**4 見える計画で、仕事をスムーズに** **～場をつくり、活用するためのテクニックを身につける～** ①計画システムで、日常マネジメントの基盤をつくる • 潜在的な問題を発掘する課題ばらし • 一人ひとりの気づきを見える化するYWT ②計画システムの要素を身につける • 仕事の総量を見える化する • 仕事の進め方に知恵を集める • 仕事での気づきを共有化する Case3 「見える計画づくりで、計画達成率を大幅に改善」 Training3 「見える計画づくりのコアとなる「課題ばらし」と「振り返り」を身につける」 **5 場のマネジメントを実践する** **～場が人を成長させ、組織を強くする～** Case4 「場をつくり、抜本的な技術課題・業務課題解決ー技術職場の事例ー」 Training4 「私のマネジメントをこう変える」 **6 総括と質疑応答** 「人と組織の能力を発揮する職場づくりに向けて」
17:00		

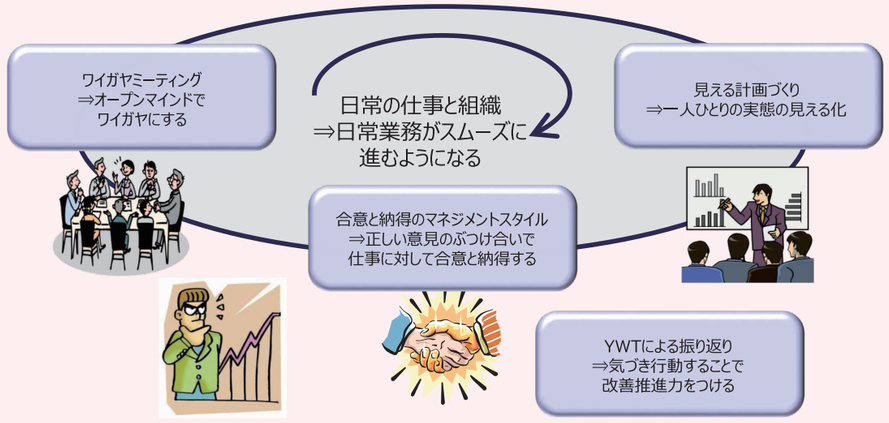
※内容は変更される場合があります。また進行の都合により時間割が変わる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※YWT：「やったこと」「わかったこと」「次にやること」の略称で、個々人の日常業務の中からの気づきを掘り起こし、仕事の仕方も改善に結びつきます。

KIであなたの職場が変わります！

プロジェクトの分担が不明確で、指示系統が錯綜していた。	指示系統の混乱がなくなり、的確な指示が伝わるようになった。
技術のノウハウが個人に帰属し、共有できていなかった。	すぐに使える技術として、チームに蓄積されるようになった。
業務負荷がつかめておらず、経験と勘に頼った分担をしていた。	業務負荷が定量的に掴めるようになり、事前計画の段階で平準化できるようになった。
新規技術課題の時のみチームで検討し、それ以外では個人で技術検討して上に報告するだけだった。	アウトプットイメージにもとづいて、技術課題を全員でブレークダウンするようになった。他部署にまたがる課題は合同で検討するようになった。

「ワイガヤ」「見える計画」「合意と納得」の３つで仕事を進める上での
潜在問題（計画遂行を妨げる職場の様々な壁、見えないネック）を発見します



参加者の声

- 自分の仕事のやり方に問題があると気づきました。他者から指摘を受けることやチームで共通のテーマを考えることがなかったので、良い刺激になりました。
- 業務に追われた仕事をこなすだけの状態にあると、本セミナーを受けることで解決のきっかけを掴むことができます。
- 個人個人が抱える問題を、主観的ではなく客観的にとらえる事により、業務負荷を軽減することができるセミナーです。
- 普段からやっているようで実はきちんとできていないことが認識できました。課題や総量のばらし検証は職場ですぐに実践します。
- 他社での実例を織り交ぜて、考え方や演習の説明があり、わかりやすかった。
- 課題発見について「メンバー全員の意見」をだすための実践的な手法のヒントが得られた。「声の大きい人」だけが話をしがちな状況を打破し、健全な組織運営ができるように努めたい。